

平成21年3月期第2四半期 会社説明資料

 **株式会社 光製作所**

(ジャスダック・8191)

会社のプロフィール

 株式会社 光製作所

平成20年9月現在

商号 株式会社光製作所

本社 東京都荒川区東尾久4丁目7番1号

代表者 代表取締役社長 安岡 光雄

設立 昭和34年4月

資本金 3,887百万円

売上高 11,192百万円(平成20年3月期実績)

従業員 60人

会社の沿革



- 昭和30年8月 荒川区尾久町2丁目434番地において代表取締役社長安岡光雄が有限会社安岡製作所を設立創業。
- 昭和34年4月 資本金1百万円の株式会社に改組、商号を株式会社光製作所に変更。
- 昭和38年3月 大阪市生野区に大阪支店を新設。
- 昭和45年10月 足立区に小台配送センターを新設。
- 昭和47年6月 大阪支店を大阪支社に改称、併せて現在地に支社ビルを新築移転。
- 昭和52年1月 業務拡張に伴い現在地に光流通倉庫を新築、同時に小台配送センターを廃止。
- 昭和56年9月 東京店頭登録銘柄として店頭市場へ株式を公開。
- 昭和59年3月 資本金を3,887百万円に増資。
- 平成16年12月 株式会社ジャスダック証券取引所に株式を上場。

事業内容

当社の企業集団は、当社、親会社、関連会社15社で構成され、業務用家具、リビング用家具、インテリア商品、育児・学童家具及びオフィス家具の販売並びに不動産の賃貸を主な業務内容として、事業活動を展開しております。



平成21年3月期第2四半期 決算概要

 **株式会社 光製作所**

(ジャスダック・8191)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題から世界的金融不安へと発展するなかで、原油高による原材料価格の高騰から、企業業績、個人消費が共に伸び悩み、景気後退局面の様相を呈してまいりました。

当家具・インテリア業界は全般に低迷を続けており、回復基調には至っておりません。家具の購買意欲は低調な状態にあり、消費者の低価格志向や企業間競争の激化から厳しい状況のままにあります。

このような経済環境下におきまして、当社は市場競争力のある商品開発と営業活動を推進してまいりました。その結果、当第2四半期累計売上高は4,988百万円(前年同期の100.0%)となりました。

利益面におきましては、営業利益は、641百万円(前年同期の76.8%)となりました。経常利益は、582百万円(前年同期の146.9%)、四半期純利益は631百万円(前年同期の203.1%)となりました。

なお、文中の前年同期増減率は参考として記載しております。

四半期損益計算書(非連結)

 株式会社 大塚製作所

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	備考
売上高	4,988	4,987	
売上原価	3,717	3,710	
販売・管理費	630	441	
営業利益	641	834	
営業外収益	66	187	
営業外費用	125	625	
経常利益	582	396	
特別利益	577	186	
特別損失	93	57	
四半期純利益	631	311	

四半期貸借対照表(非連結)



(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末	前第2四半期会計期間末	備考
流動資産	5,054	6,831	
固定資産	36,796	34,836	
資産合計	41,851	41,667	

流動負債	3,345	3,160	
固定負債	2,579	2,516	
負債合計	5,925	5,677	

資本金	3,887	3,887	
資本剰余金	4,947	4,947	
利益剰余金	26,964	26,797	
純資産合計	35,926	35,990	

四半期キャッシュ・フロー計算書(非連結) 株式会社 星製作所

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	3,400	1,039	
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,255	△ 3,229	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 840	859	
現金及び現金同等物の 増加額	279	△ 1,333	
現金及び現金同等物の 期首残高	276	2,884	
現金及び現金同等物の 四半期期末残高	555	1,551	

セグメント別売上高

セグメント	当第2四半期累計期間		前第2四半期累計期間		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
家具商品事業	3,405	68.3%	3,563	71.4%	△ 158	△4.4%
不動産賃貸事業	1,583	31.7%	1,424	28.6%	159	11.2%
合計	4,988	100.0%	4,987	100.0%	1	0.0%

家具商品事業

家具商品事業は業務用家具が横這いとなりましたが、リビング用家具以下ホームユース向け部門が引続き厳しい状況にあります。

不動産賃貸事業

新規稼動物件が寄与し堅調な伸びを示しました。

平成21年3月期

業績予想

 株式会社 光製作所

(ジャスダック・8191)

平成21年3月期 業績予想(非連結)



(単位:百万円)

	21年3月期	20年3月期	増減額	備考
売上高	10,860	11,192	△ 332	
経常利益	1,774	1,427	347	
当期純利益	1,009	△ 13	1,022	
EPS (円)	54.03	△ 0.74	—	
ROE	2.8%	△0.0%	—	

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 株主資本利益率

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

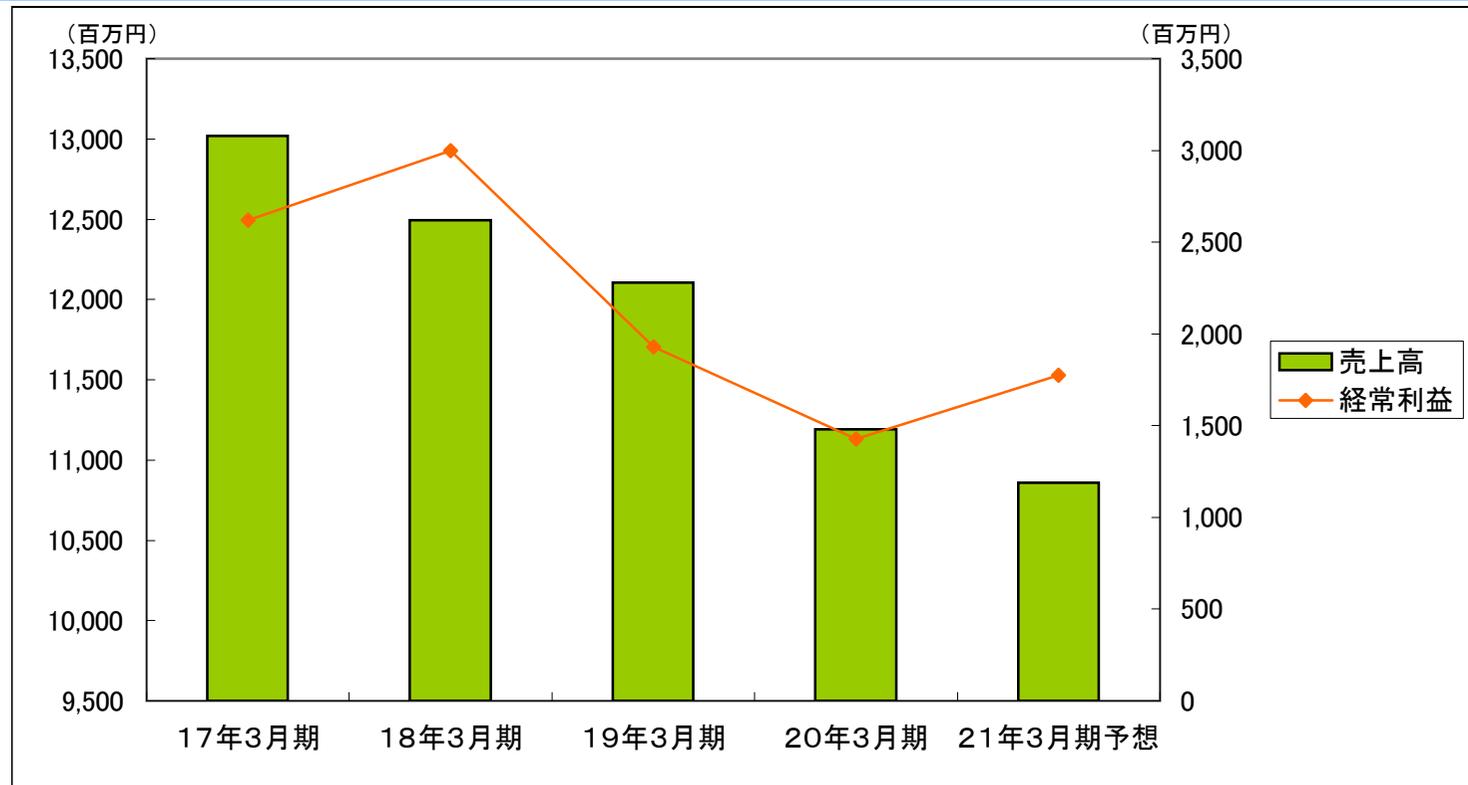
経営方針

当社は創業以来、家具を通じて「快適な住空間の創造」をテーマとし、市場における多種多様なニーズに応ずるべく商品の開発に努め、家具を安定的に供給することをもって社会に貢献することを基本方針としております。

今後の取り組み

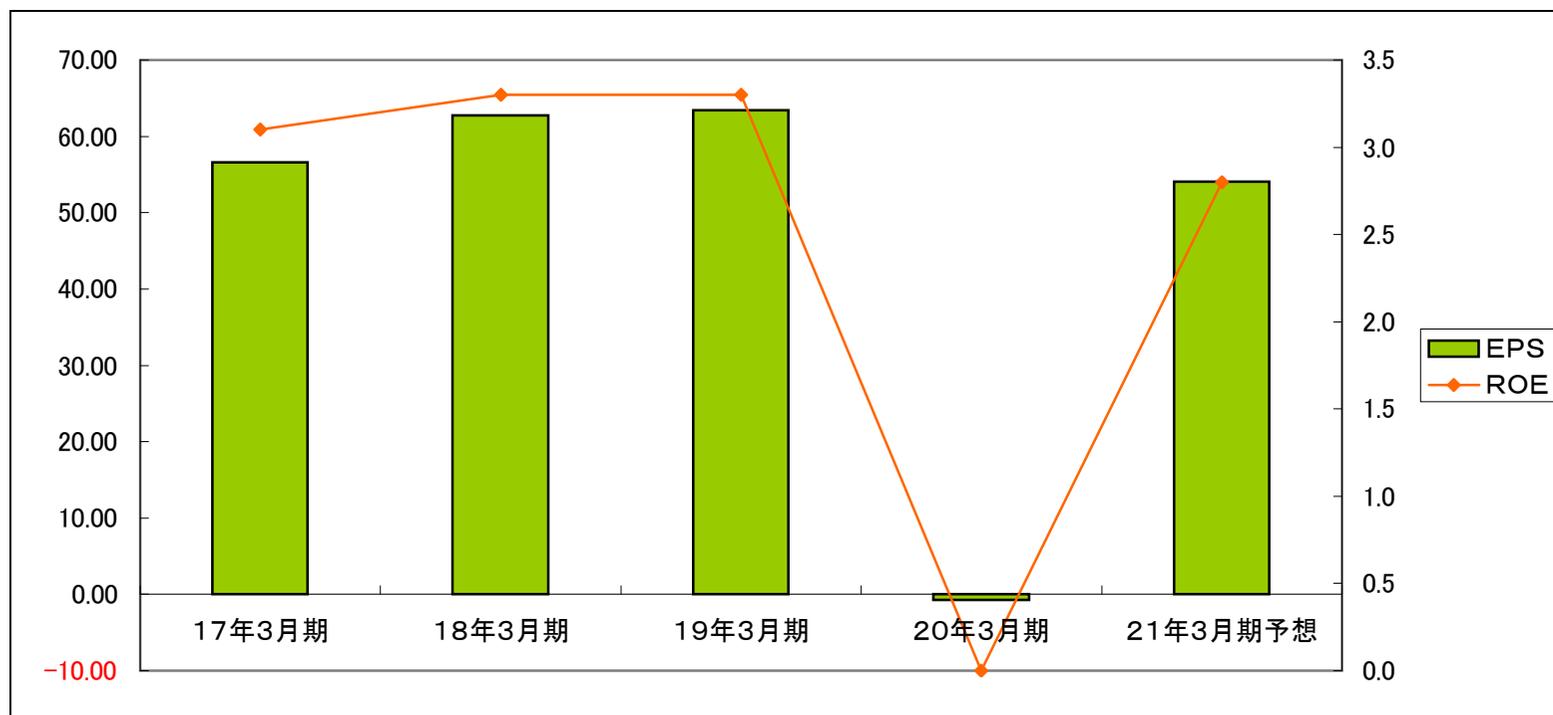
当社は商品開発に注力して魅力ある商品、競争力のある商品を創造し、売上の拡大を図ることを目指します。また、グループ一丸となり、製造部門では原価の低減に努め、販売部門では、販路の開拓、拡充に向けた営業力の強化に努めることにより、家具市場でのシェアの拡大を図ることが重要課題であると考えております。さらに、企業の財務体質を強化し、効率的、継続的に利益を確保し、発展を続ける企業経営に向け邁進してゆく所存であります。

売上高・経常利益の推移(非連結)



	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期予想
売上高	13,020	12,494	12,107	11,192	10,860
経常利益	2,619	3,000	1,930	1,427	1,774

EPS・ROEの推移



	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期予想
EPS	56.62	62.75	63.39	△ 0.74	54.03
ROE	3.1	3.3	3.3	△ 0.0	2.8



株式会社 光製作所

総務部

TEL : 03-3800-0111